

# 子ども・子育てに関するアンケート

アンケート実施期間 平成30年11月1日 ~ 平成30年11月10日  
 回答者数 155 名 (登録者数 463 名 うち配信成功数 455 名)

## ●性別

男性	97	62.6%
女性	58	37.4%
計	155	

## ●年齢

20代以下	1	0.6%
30代	17	11.0%
40代	32	20.6%
50代	33	21.3%
60代	36	23.2%
70代以上	36	23.2%
計	155	

## Q1 岡崎市は、子育て中の親にとって、子育てしやすいまちだと思いますか。

そう思う	56	36.1%
どちらでもない	78	50.3%
そうは思わない	21	13.5%
計	155	

## Q2 岡崎市は、子ども達にとって、その成長や教育によいまちだと思いますか。

そう思う	72	46.5%
どちらでもない	67	43.2%
そうは思わない	16	10.3%
計	155	

## Q3 あなたは、少子化対策や出生率増加のための施策を必要だと思いますか。

必要だと思う	92	59.4%
どちらかといえば必要だと思う	44	28.4%
どちらでもない	9	5.8%
どちらかといえば必要ないと思う	8	5.2%
必要ないと思う	2	1.3%
計	155	

## Q4 全国的に出生率が低い主な原因は何だと思いますか。(3つまで回答可)

結婚して子育てをすること以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えたから	56	12.8%
子育てよりも仕事に生きがいを見出す人が増えたから	19	4.4%
晩婚化や未婚化が進んでいるから	97	22.2%
出産・子育ては経済的負担が大きいから	92	21.1%
仕事と子育ての両立支援体制が整っていないから	89	20.4%
住宅や遊び場など、子育てに望ましい住環境が整っていないから	4	0.9%
子育て支援サービスが十分でないから	16	3.7%
地域の人など、身近で子育てを支えてくれる人がいなくなったから	23	5.3%
地域環境や社会の動向に対して、将来への不安を感じる人が増えているから	29	6.7%
わからない	1	0.2%
その他(自由記入)	10	2.3%
計	436	

## Q5 あなたにはお子さんがいますか。実際的人数をお答えください。

0人(いない)	15	9.7%
1人	27	17.4%
2人	69	44.5%
3人	37	23.9%
4人	7	4.5%
5人以上	0	0.0%
計	155	

Q6 あなたが理想とする子どもの人数は何人ですか。

0人（いない）	2	1.3%
1人	6	3.9%
2人	55	35.5%
3人	83	53.5%
4人	5	3.2%
5人以上	4	2.6%
計	155	

Q7 実際の子どもの人数が理想の人数よりも少ない方にうかがいます。その主な理由は何ですか。

これから子どもを持つつもりだから	3	2.9%
子育ての身体的・精神的な負担が大きいから	11	10.8%
子育てのための経済的な負担が大きいから	28	27.5%
仕事と子育ての両立が難しいから	8	7.8%
保育サービスなどの子育て支援サービスが十分でないから	3	2.9%
自分自身の生活を楽しまたいから	2	2.0%
自分または配偶者の健康上の理由から	11	10.8%
自分または配偶者の年齢上の理由から	16	15.7%
住宅が狭いなど、居住環境がよくないから	2	2.0%
子どもをとりまく環境に不安があるから	1	1.0%
子育てに自信がないから	2	2.0%
その他（自由記述）	15	14.7%
計	102	

Q8 心にゆとりや自信をもって子育てをするためには、何が特に必要だと思いますか。（2つまで回答可）

家族の協力が得られること	72	25.3%
子どもと接する時間が十分にあること	34	11.9%
子育てについて気軽に相談できる相手がいること	19	6.7%
経済的に余裕があること	93	32.6%
職場の理解があること	29	10.2%
子育て支援サービスが整備されていること	34	11.9%
わからない	0	0.0%
その他（自由記述）	4	1.4%
計	285	

Q9 子育て支援として、どのような分野に最も重点をおくとよいと思いますか。

各種保育・教育サービス	45	29.0%
妊娠・出産・育児期の健康診断	3	1.9%
身近で安心な小児医療サービス	4	2.6%
子育て相談窓口や子育て支援情報の提供	18	11.6%
公園など、身近な子どもの遊び場	11	7.1%
子育てと仕事の両立ができる職場環境	50	32.3%
犯罪などが少ない、安心できる地域環境	12	7.7%
その他（自由記入）	12	7.7%
計	155	

Q10 子どもを安心して産み育てられる環境のために市にどんな施策を期待しますか。（5つまで回答可）

妊産婦や乳幼児健康診査、保健指導などの母子保健体制の整備	29	4.5%
夜間や休日における小児科や医療体制の整備	52	8.0%
夜間保育、一時保育などの子どもを預けられる保育サービスの充実	72	11.1%
保育士の処遇改善による幼児教育・保育の質の向上	58	9.0%
幼児期から英語やプログラミングなど特別な教育を提供する環境（費用負担あり）	9	1.4%
子育てに関する相談・情報・手続きなどの窓口の一本化	42	6.5%
地域における子育てサークルなどの自主活動への支援	15	2.3%
家事や育児への男女共同参加意識の啓発	40	6.2%
育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の充実	72	11.1%
子育てにかかる経済的な負担の援助	101	15.6%
子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備	20	3.1%
全天候型の遊び場の整備など子どもの遊び場の充実	34	5.3%
乳幼児連れでも講演会やイベントに参加しやすいように会場の保育機能の整備	12	1.9%
ベビーベッドの設置やベビーカーを押して歩きやすい歩道など、施設や道路の整備	18	2.8%
児童虐待を防止するための体制の整備	14	2.2%
いじめや非行防止など、子どもが健全に育つための対策の充実	45	7.0%
特にない	2	0.3%
その他（自由記述）	11	1.7%
計	646	

## ● Q 4

☆重複する内容はまとめてあります

雇用の流動化、格差の放置等、将来へのばくぜんとした不安を抱かせる社会が原因なのか？  
 収入が増えないのに結婚や出産どころではない国民が多数だから。  
 団塊世代の退職と就職できる人が減少して、女性も働き、専業主婦が少なくなったから  
 所得低迷  
 両親との同居が少なくなった  
 そもそも結婚して子孫の残すという意味を理解あるいは知らない若者が多いと思う。  
 子どもが騒がしいことに対する社会の不寛容さを感じるため  
 性に対する欲求が男女とも希薄になっている。犯罪は別として。  
 首都圏一極集中しており、地方では不自由な生活にある。  
 子供が授からない

## ● Q 7

経済的背景から専業主婦が成り立たない  
 高齢者にするアンケート？  
 理想より多くそだてました。  
 子供がいなため分かりません  
 結果的に子供がいなだけで、健康面、経済面、主義主張があるわけではない。  
 晩婚で子が出来なかった  
 少ないから  
 金銭的負担が大きすぎる。  
 子どもができないから  
 今の人数で満足している  
 産まれなかったから。  
 結婚相手がいない  
 この質問はするべきではない。配慮に欠ける。  
 離婚のため  
 はじめの理想であったが、2人でいいと思うようになったから

## ● Q 8

現代版の班田収授制度の創生。生まれた子供には衣食住の保証をする制度が必要。ベーシックインカム制度の導入など  
 社会の発展に伴う果実は個人に収得させず、社会全体に還元する法整備が必要。  
 喜びを感じる事  
 親も子ども道徳的価値基準を学ぶ機会を増やす  
 社会が寛容であること

## ● Q 9

☆重複する内容はまとめてあります

学校教育・学校生活・学校教材・学校給食など教育関連の完全無償化  
 経済支援  
 地域と学校と家庭の連携  
 子供に掛かる費用の負担  
 子供たちだけが集まって集会し色々なもようしを考え行っていく機会や場所が必要  
 ちまちました子育て支援ではなく抜本的に考え方を変えないと日本の社会体制は崩壊する。十分に生きてきた老人に莫大な医療費を使うより今から生まれてくる子供たちにお金を使う発想の転換が無ければ社会保障制度が崩壊する。  
 なし  
 東岡崎、駅ビル跡地に院内保育園フロアの設置。駅ビル内を子供中心の商業施設に特化する。岡崎の玄関口を子供中心の町であるとアピールする  
 子供を持った方が経済的に有利になるくらいの制度がなければ少子化は止まらない。

● Q10

今やれることは全てやればいい。しかし、本当に考えなくてはいけないのは少子化は国の存亡に係わる問題だということ を日本人全体が理解することだと思う。
病児保育の整備。豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市等岡崎市よりも人口が少ない近隣市でも十分に整備されているにも 関わらず、人口38万人規模の市にあって病児保育が整備されていないのは行政の対応として非常に遅れていると思 うし、怠慢だと思います。
金銭、財政的な補助。
学童の拡充(6年間へ、定員数、施設、担当者。保育園・幼稚園の増園。
アンケートとその結果を外注するのは良いですが 現実の市政に反映することがあったのでしょうか
68歳子育ての経験が乏しく的確な判断がしかねるでしょうが 考えをまとめました。
車での移動が主になるため、各施設の駐車場の充実
こどもの家の利用要件の緩和
一部の小学校はスクールバスを作り安全に登校できるようにする。保育園、幼稚園の時間内で働ける職場の充実(実施 事業所に子育て支援ｽｯｶｰ等発行
岡崎市は病院の閉院時間が他の自治体より早いと思います。これは大きなデメリットです。
地域の子供に対する理解

☆アンケート回答にご協力いただいたみなさまへ

子ども・子育てに関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。  
岡崎市では、誰もが安心して子どもを産み、子育てに夢や希望を持つことができる社会の実現を目指し、現  
在、「おかざきっ子 育ちプラン」の次期計画策定に向けて検討を行っています。  
今回のアンケートは、子育て中の方に限らず、市民の皆様の子育てに関する考えを把握するために実施いたし  
ました。アンケート結果は、次期計画策定のための参考資料として活用させていただきます。